

## 第14回 Bio-SPM夏の学校 募集要領

---

### 募集の趣旨

金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）では、原子分解能/3D-AFM (FM-AFM)、高速 AFM、SICM（走査型イオン伝導顕微鏡）、細胞計測AFMといった最先端の Bio-SPM 技術を世界に先駆けて開発し、生命科学研究への応用を進めています。

これらの先端 Bio-SPM を自身の研究で使用してみたい若手研究者や学生の皆様を対象に、ご自身で持ち込んだ試料の観察を実際に体験し、新しい可能性を肌で感じていただくことを目的として、Bio-SPM 夏の学校（旧称：バイオ AFM 夏の学校）を開催します。

体験を希望するBio-SPM技術として、原子分解能/3D-AFM、高速 AFM、SICM、細胞計測 AFMの中から、ご自身の目的にあった一つを選択して申し込んでいただきます。ただし、観察を希望する試料との適合性などの理由で、ご希望とは異なるBio-SPM技術で採択する場合があります。Bio-SPM 技術の詳細は、第14回 Bio-SPM夏の学校参加募集ページ (<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/research/applications/summerschool/>) の別紙資料「各 SPM 技術の概要」をご覧ください。

観察する試料は、生体分子や細胞などを主な対象としますが、液中での観察が望まれる幅広い試料を対象とします。Bio-SPM 夏の学校では、これ等の先端 Bio-SPM で研究を行っている NanoLSI のスタッフがインストラクターを務め、Bio-SPM の操作方法や Bio-SPM用の試料調製のノウハウも学ぶことができます。また、ご自身の試料の観察は、インストラクターとの共同研究として実施していただきます。

---

### 参加要件

- ご自身の研究対象の試料を先端 Bio-SPM で観察したい方
- ご自身の試料を調製、持参できる方
- 2026年8月17日から21日の、Bio-SPM 夏の学校の全日程に参加できる方
- 8月21日の成果発表会で、Bio-SPM夏の学校で得た自身の成果を発表することに問題無い方（発表会参加にあたっては、秘密保持契約書に署名していただきます）
- Bio-SPM に関する予備知識は必要ありません。
- これまでの Bio-AFM/SPM 夏の学校に参加された方は応募できません。Bio-SPM 技術共同研究へご応募下さい。これまでの参加者と同一の研究室の方は応募可能です。
- 同一テーマでの採択は、1名のみとします。
- 学生は、採択後に所属機関の参加許可が必要です。

---

## スケジュール

2026 年 8 月 17 日（月）～8 月 21 日（金）@金沢大学角間キャンパス ナノ生命科学研究所（NanoLSI）

参加者は 8 月 17 日に NanoLSI に集合し、以下の日程すべてに参加していただきます。

- 8 月 17 日（月）午前：レクチャー、自己紹介
  - 8 月 17 日（月）午後から 8 月 20 日（木）：Bio-SPM を用いた実験
  - 8 月 21 日（金）：成果発表会（使用言語：英語）
  - Bio-SPM に関する教材を指定し、事前に学習していただきます
  - プログラムは英語で実施します
- 

## 募集締切

2026 年 5 月 15 日（金）17 時必着

---

## 申し込み方法・応募様式

参加申込書にご記入の上、メールでご送付ください。

メールアドレス：nanoss\_rec2026[at]ml.kanazawa-u.ac.jp

※[at]をアットマークに変換して下さい

参加申込書は、第 14 回 Bio-SPM 夏の学校参加募集ページ(<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/research/applications/summerschool/>)からダウンロードして下さい。

応募後、3 日以上経っても受付のメールが来ない場合は、問合せ先アドレスにお問合せ下さい。その際は、できるだけ応募時と別のアドレスからメールを送って下さい。

---

## 参加申込書の記入について

- Bio-SPM夏の学校で観察したい試料や現象、ご自身の研究におけるSPM観察の必要性や意義を、日本語もしくは英語を使用し、枠内に収まるよう記述してください。
- 図表を含めても構いません。タンパク質の観察の場合は、その純度など、試料に関するできるだけ詳細な情報をお示しください。
- 以下の試料は**受け入れできません**。
  - ✧ P2レベル以上の遺伝子組み換え生物、BSLレベル2以上の病原性微生物とウィルス、その他規制品
  - ✧ 海外からの応募の場合、日本への持ち込みが禁止されているもの
  - ✧ 使用に際し、許可申請が必要になるもの
- 採択後に、観察予定の試料が、Bio-SPM夏の学校への持ち込みができないことが判明した場合、採択が取り消される可能性があります。

---

## 問合せ先

金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)

nanoss\_recp2026[at]ml.kanazawa-u.ac.jp

※[at]をアットマークに変換して下さい

---

## 定員

約 20 名

応募資料の内容を元に参加者の選考を行います。

---

## 参加費・旅費

- 参加費は無料です。
  - 旅費は NanoLSI から支給します。支給の上限は 20 万円です。※海外に在住する参加希望者で航空運賃が支給額上限を超える場合については、採択後にご相談ください。  
(旅費は金沢大学の規程に基づいて計算し、最も低価格な路線が基準になります。) また、指定の施設に宿泊していただきます。食費はご自身でご負担下さい。
- 

## 成果の公表について

- Bio-SPM 夏の学校で得られた成果が含まれる論文発表等を行う場合は、一般的な共同研究の場合と同様に、論文投稿前にインストラクターにご相談下さい。